

ふりがな 氏名	ごとうだ ようすけ 後藤田 洋介	都道府県	大阪府	
所属/肩書	奈良教育大学ユネスコクラブ 副代表			
私のESD活動	大学キャンパスにテントを張り、小学生、中学生、そしてシカと一緒にESD子どもキャンプを実施している			
ESD活動を表すキーワード	学びの変革	つながり	奈良の世界遺産	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

■ESD 子どもキャンプ「ESD を体験的に学ぶ」を基本理念に、奈良市のユネスコスクールなどから児童生徒を大学に招き、ESD をテーマにしたキャンプを4年前から実施している。活動は大学を中心に行い、大学のグラウンドにテントを張り、大学内で、キャンプファイヤーを行っている。昨年度のテーマは、“奈良の古写真から未来を考える”とし、昔から残り続けていると思われがちな奈良の風景が、刻一刻と変化し続けており、私たち(大学生・子ども)は自分たちが、この社会を担う一人の当事者であるのだという意識を高められるような取り組みを行った。

成果については、学生一人一人が、教師としての自覚を持つことができたこと、さらに、参加者が持続可能な社会づくりの担い手としての意識を高められたこと。

■ESD 実践勉強会・・・ESD を学ぶ機会のほとんどが、大学や国の事業で行われていることに疑問を持ち、大学生が自ら学ぶ機会を作りだし、大学内外での ESD の普及を行う活動。本年が初年度の取り組みで、第一回の勉強会では、アフリカの開発経済学を学ぶボードゲームをテーマに、ESD を楽しく学べる勉強会を開催した。第二回は、ESD を通じた仲間づくりをテーマに宿泊研修を行い、“ESD 的なキャンプとは何なのか”を学べる機会を作る。対象に全国のユースを考えている。

■ユネスコスクール支援奈良市のユネスコスクールを中心に、地域探検、野外活動を支援している。地域探検では、iPad などの ICT を取り入れ、学びの新しいスタイル、また、学習者と地域とのつながりを考えられるような活動を心掛けている。野外活動では、ESD 子どもキャンプなどで学んだ野外活動の知識をもとに、地域のユネスコスクールの支援を行っている。

・地域と連携した「学ぶ喜び」プロジェクト <http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~katohs/manabu2013.htm>

・奈良教育大学ユネスコクラブ <http://nueunescoclub.web.fc2.com/>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

今後の活動としては、大きく3つの展望を持っている。

1点目は、現在所属している団体での ESD の理解を深めることである。勉強会や子どもキャンプなどの活動を通して、ユネスコクラブでの ESD のレベルアップを図りたい。

2点目は ESD の理解を広めるということである。今年度は、ESD 実践勉強会を関西圏のユースを中心に活動を開始した。この活動を通して ESD をさらに広げようと考えている。

3点目は ESD の新たな分野を開拓することである。私は理科教育を主に学んでいる。理科教育での ESD 実践はほとんどが環境分野である。そのほかの分野を開拓することで、ESD の裾野を広げることができると考えている。

以上のように、ESD を団体として深めること、ESD を多くの人に広めること、ESD 自体を深める活動を行っていきたいと考えている。